



井荻中学校運営協議会だより

令和元年度 第9回 井荻中学校運営協議会活動報告

- ◆会長挨拶・・1月2日に急逝された中川委員を偲んで黙祷を捧げたいと思います。CSのリーフレットが綺麗にできあがりました。ご苦労様でした。学校の方はスキー教室も終わり、落ち着いた授業進行がなされているように思います。第9回の協議会を宜しく願いいたします。
- ◆校長挨拶・・中川委員の急逝につきまして心より哀悼し、ご冥福をお祈りいたします。本日は学校評価の検討も行いたいと思いますので、PTA会長の須浪さんにも参加いただいております。1年生の地域の方へのインタビューでのご協力有り難うございました。2年生のスキー教室が無事に終了しました。けが人、病人が1人もでませんでした。3年生は受験シーズン真っ盛りですが、私立推薦20数名合格、都立推薦30名弱受験しています。この後、私立一般入試、都立一般入試と続きます。近年の入試の特徴は、私立高校のWeb出願、都立専門高校の倍率低下、サポート校の志願者の増加が顕著なことです。生活指導関係では、外部機関と連携しながら解決を図っている事例があります。
- ◆議事①CSだよりについて・・リーフレットができあがりました。ご協力有り難うございました。
 - ②学校評価・・副校長先生より教員・保護者・生徒を比較した評価資料等についての説明を受け、その後質問、意見等の交換を致しました。
 - (CS委員)調査結果より保護者の理解、関わり方を校長先生はどう感じていますか？
 - (今橋校長)保護者の方は土曜日の学校公開にはご来校いただけますが、大変少なく、授業やICT教育に関する質問には答えにくいと思います。又、子供が学校の様子を話さない事もあるので実態を把握しづらいと思います。むしろ中学校の場合は、生徒の数値と教員の数値の乖離があるところは考えないといけないと思います。
 - (CS委員)昨年度、教育調査の評価が低い項目の改善策を3月の学校便りに載せていました。改善されたか今回の調査で確認した所、どの項目を評価が上がっていましたので素晴らしいことだと思います。但し、気になるのは先生方の評価と生徒、保護者の評価に乖離が見られることです。個別指導は先生方の評価は85,7であるのに対し、生徒は37,7、いじめは先生方100保護者40,5となっておりこの乖離の是正が求められます。いじめに関し生徒が「なくすことを意識している」と答えたものが70,5いることは意識の高さがあらわれていると思いました。
 - (CS委員)読書活動は伝統的にレベルが高く保護者75,5、生徒79,1と評価も高いですね。
 - (今橋校長)そうなのですが、保護者、生徒の評価が昨年より下がっていることが気になります。難しい本にトライし、それを読み切ったという達成感を大切にしていけることが必要です。
 - (CS委員)挨拶がしっかり出来ているが、授業中指導するのですか？道徳の授業をするのですか？
 - (今橋校長)道徳が正式教科になったのでその成果が出ているかも知れません
 - (CS委員)生徒会の働きかけも大きいと思います。生徒会が主体となって取り組む姿勢は立派です。
 - (今橋校長)我々や保護者の方からも声かけをすることも大切だと思います。

次回は2月28日(金) 16:00~1階小会議室 傍聴希望者は副校長へ

(運営協議会だよりは、右のQRコードを読み取ることでスマホからもご覧になれます。)

